

令和6年度中予地方局予算事業成果表

1 基本事項

- (1) 事業名 観賞用ユーカリ産地拡大事業費
(2) 事業期間 令和4年度～令和6年度
(3) 所 管 農林水産振興部 農業振興課 地域農業育成室
(4) 予算額 1,601 千円

2 事業目的

中予地域は、観賞向けの品種で人気の高いユーカリ・グニーの全国有数の産地であり、豊かな香りとインテリア性の高さから生産拡大の要望が寄せられている。そこで、水田転換ほ場における排水性改善技術や苗供給体制の確立をはじめとした安定生産技術の確立を図るとともに、市場等を通じ消費者ニーズに応じた新たな品種の導入を検討し、ユーカリの産地拡大に取り組む。

3 主な取組（何をしたか）

(1) 中予地域ユーカリ生産対策協議会の開催

生産対策協議会を2回開催し、安定供給と産地拡大に向けて技術実証内容や生産動向について意見交換した。

(2) ユーカリ・グニーの産地拡大

○苗供給体制の確立

挿木及び育苗講習会を開催した（計6回、延べ79人）。

○安定生産技術の確立

- ・排水性改善を目的に、実証試験で確立した排水対策技術（水田ほ場の通路に排水用の縦穴を設置）を生産者に推進した。
- ・収量・品質に優れた整枝方法を検討するため、仕立本数（3年生株）を変えて実証試験を行った。（1本、2本、4本仕立の3処理区）
- ・栽培技術及び経営モデルを内容とする栽培マニュアル（図2）を作成し、生産者に配布した。

(3) 新規品種ユーカリの導入検討

新規品種の候補として3品種（パルブラ、ユーカリ・グニー、アップルボックス）を試作し、地域適応性と市場評価の結果を踏まえて導入を検討した。



図1 ユーカリ



図2 栽培マニュアル

4 成果（何がどう変わったか）

- 排水対策技術が実施2年経過後も効果が継続していることを確認。R6年度は24人が同技術を導入した。その結果、株枯れ症の発生が減少し、栽培面積は21.5ha（前年比108%）と増加した。
- 夏季高温の影響もあり仕立本数による収量・品質差はなかったが、引続き実証試験を行い、適切な仕立方法について検証する。
- 新規品種の3品種とも収量性や市場性等において有望であることから、次年度も実証試験により栽培方法等について検討することとした。